

2013年 メディア情報、都市生活 第1問

1 次の を埋めよ。

- (1) $x = 2 - \sqrt{5}i$ のとき、 $x^2 - 4x = \boxed{\text{ア}}$, $x^3 - 6x^2 + 9x - 1 = \boxed{\text{イ}}$ である。ただし、 i は虚数単位とする。
- (2) $\log_2 4 \times \log_4 8 \times \log_8 16 \times \log_{16} 32 = \boxed{\text{ウ}}$, $\log_2 4 + \log_4 8 + \log_8 16 + \log_{16} 32 = \boxed{\text{エ}}$ である。
- (3) a, b を定数とする。 $(a^3 + b^3 - ab)x + a + b = 140x + 6$ が x についての恒等式であるとき、 $a + b = \boxed{\text{オ}}$, $ab = \boxed{\text{カ}}$ となる。ここで、 $a < b$ であるとすると、 $a = \boxed{\text{キ}}$, $b = \boxed{\text{ク}}$ となる。
- (4) $|\vec{a}| = 2$, $|\vec{b}| = 1$, $|2\vec{a} + 3\vec{b}| = \sqrt{13}$ のとき $\vec{a} \cdot \vec{b} = \boxed{\text{ケ}}$ であり、 \vec{a} と \vec{b} のなす角を θ ($0 \leq \theta \leq \pi$) とすると $\theta = \boxed{\text{コ}}$ である。また、 $2\vec{a} + 3\vec{b}$ と $\vec{a} - t\vec{b}$ が垂直であるとき、 $t = \boxed{\text{サ}}$ である。
- (5) 関数 $y = x^2 - 2kx + 2k^2 - 2k$ ($-2 \leq x \leq 2$) において、 k が $-1 \leq k \leq 2$ の範囲にあるとする。 y のとり得る最大の値は $\boxed{\text{シ}}$ であり、このとき $k = \boxed{\text{ス}}$, $x = \boxed{\text{セ}}$ である。また、 y のとり得る最小の値は $\boxed{\text{ソ}}$ であり、このとき $k = \boxed{\text{タ}}$, $x = \boxed{\text{チ}}$ である。
- (6) 関数 $y = \sqrt{2} \sin \theta + \sqrt{3} \cos \theta$ ($0 \leq \theta \leq \pi$) は $y = r \sin(\theta + \alpha)$ ($r \geq 0$, $0 \leq \alpha < 2\pi$) の形に変形できる。このとき、 $r = \boxed{\text{ツ}}$, $\sin \alpha = \boxed{\text{テ}}$, $\cos \alpha = \boxed{\text{ト}}$ となる。この関数の最大値は $\boxed{\text{ナ}}$, 最小値は $\boxed{\text{ニ}}$ である。
- (7) 一般項が $a_n = \frac{n^4 + n^3 + n^2 + n + 1}{n(n+1)}$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) で表される数列 $\{a_n\}$ の初項から第6項までの和 S_6 は $S_6 = \boxed{\text{ヌ}}$ である。
- (8) 下図は、ある地域の道路を表したものであり、A 地点から B 地点までを遠回りせずに行く道順が何通りあるか調べたい。ただし、×印のある C 地点と D 地点は工事中で通行できないようになっている。まず、工事がないものと考えると道順は $\boxed{\text{ネ}}$ 通りであり、そのうち C 地点を通過する道順が $\boxed{\text{ノ}}$ 通り、D 地点を通過する道順が $\boxed{\text{ハ}}$ 通り、C 地点と D 地点を両方とも通過する道順は $\boxed{\text{ヒ}}$ 通りである。したがって、工事地点を通過しない A 地点から B 地点までの道順は $\boxed{\text{フ}}$ 通りとなる。